

SETAC Japan Chapter (一般社団法人セタックジャパン)

2018.4 – 2019.3

Annual Report



2019年6月発行

代表理事よりご挨拶

拝啓

SETAC-J 設立、一般法人として活動開始して4年が経過致しました。この間、国内の活動として環境化学会、環境毒性学会および環境ホルモン学会への協力、協賛等行ってきましたが、2018年は第1回目の SERTAC-J annual meeting を7月20日に開催できました。SETAC-AP 会長の Lee 氏からのビデオレターや SETAC-global 会長 Smith 氏による SKYPE 講演、基調講演として塩崎氏に「中国における大気環境改善のためのコベネフィット型取り組みについて」と題してご講演頂きました。2019年も9月に国環研山本先生にお願いして第1回の SERTAC-J annual meeting をつくばで開催予定です。皆様の交流の場として活用頂ければ幸いです。また、2018年9月に韓国テグ市で SETAC-AP の Biannual meeting も開催され、日本からの学生参加者に旅費の補助を行いました。

一方で日本インドネシア国交60周年事業の一環として実施されたインドネシア環境管理センターの創立25周年記念事業に協賛し、第2回目のインドネシア視察ツアー（廃棄物処理場及びバンドンチタルム川関連見学）も行いました。

現在、SETAC-J 会員（日本に住所を持つ SETAC 正会員）数に応じて SETAC 本部から活動経費をサポート頂いております。これまで SETAC 本部、SETAC-AP が確認している SETAC-J 会員数が実数より少ない事実がありました。最近、SETAC-J 会員の皆様の年会費の納入時期、WEB サイトが各自それぞれ異なり (SETAC-NA, SETAC-EU の登録に関連?)、SETAC 本部での会員数確定の時期に会員として登録できていないことがその理由であることが判明しました。そこで SETAC-J 皆様には今後順次年会費納入を SETAC-J の会計年度開始時期5-6月に揃えて頂き、SETAC-J の WEB サイトから SETAC-AP 経由で手続きすることに統一できればと考えております。事務局からご案内がありましたら会員の皆様にはご理解のうえ、ご協力頂きます様お願い致します。今後は、メーリングリストも充実させ、SETAC 本部からの情報を関係各位に逐次お知らせしていきます。会員の皆様からの SETAC-J の運営、活性化に関しまして WEB やメール等でのご意見や企画提案等お待ちしております。

敬具

一般社団法人セタックジャパン

代表理事 有菌 幸司

(熊本県立大学環境共生部 教授)

SETAC について

The Society of Environmental Toxicology and Chemistry (SETAC) は、「科学を通じて、より良い環境へ」をスローガンに、環境の諸問題に対する研究や分析・解析、天然資源に関する管理や規制、環境教育、研究開発に携わっている個人や組織から構成されている非営利目的の国際的な団体です。

「環境にかかわる諸問題を解決するための多方面にわたるアプローチ」「産官学の連携」「科学的基盤に立った客観性の堅持」の 3 点を設立理念として、1979 年に北米での設立以来、ヨーロッパ、アジアパシフィック、ラテンアメリカ、アフリカでの地域ユニットが設立され、環境化学と環境毒性に関する学会としてはグローバル最大の規模で活動しています。

日本支部 (Japan Chapter) は、Asia-Pacific (アジアパシフィック) 地域ユニットの下部組織として 2015 年に設立しました。日本が培ってきた環境マネジメントの多岐にわたる分野の専門家が集い、日本及び東アジア地域のさらなる環境対策研究・技術・手法の協力的発展に貢献することを目的として、日本国環境省、日本国際協力機構、日本貿易振興機構や国内企業などと連携した環境保全に対する科学的、社会的アプローチ体制を日本及び東アジア地域で展開していきます。

会員

(2019 年 3 月 31 日時点)

SETAC Asia-Pacific 日本人会員 (SETAC Japan 個人正会員) : 76 名

(過去 2 年以内に期限切れ・未更新 23 名含む)

SETAC Japan 企業会員 (入会日順・敬称略) :

Gold 2 社 [株式会社グロービック](#) [サイエンスシード株式会社](#)

Silver 3 社 [三浦工業株式会社](#) [瑞輝科学生物株式会社](#) [柴田科学株式会社](#)

その他 Bronze 4 社



活動報告

- ① インドネシア環境管理センター設立 25 周年記念式典において JICA およびインドネシア共和国環境林業省より依頼を受け、式典・シンポジウムを共催し、トピックス地域視察ツアーを実施いたしました。

内容：

- ・参加者：約 470 名 (内日本人約 50 名)
- ・式典・シンポジウム：水銀研究モニタリング委員会の設立宣言、水銀研究・環境汚染・気候変動に伴う環境研究戦略について両国専門家によるパネルディスカッションを行いました。
- ・地域視察ツアー：産業廃棄物処理やチタムル川浄化について訪問し現地の研究者や担当者からヒアリングをおこないました。

② SETAC-J 年会の実施（台東区民会館）

- ・会場にてポスター展示
- ・学生受賞者 2 名へ賞状及び特典として環境毒性学会年会費 1 年分と、9 月開催の SETAC-AP2018 の参加費補助の授与
- ・特別講演の実施

「中国における大気環境改善のためのコベネフィット型取り組みについて」塩崎 卓哉様

③ 関連学会等の共催・協賛・後援・協力および展示広報活動の実施

協賛：環境ホルモン学会 21 回研究発表会（東洋大学白山キャンパス）

展示：日本環境毒性学会研究発表会（岐阜サテライトキャンパス）

会計報告

収入：¥2,341,313

支出：¥1,873,265

所在地

本部：〒862-8502 熊本県熊本市東区月出 3-1-100

熊本県立大学 環境共生学部 有菌研究室内

東京事務所：〒111-0041 東京都台東区元浅草 1-8-6

株式会社グロービック 東京事業所内

TEL 03-5246-4148 FAX 03-5246-4149

info@setac-ea.org website URL: <http://www.setac-ea.org/>